



静岡県立沼津商業高等学校同窓会  
〒410-0917  
静岡県駿東郡清水町徳倉1205  
TEL055-932-5747 (FAX共用)



## 会報発行 ごあいさつ

同窓会長

大川徳雄

沼津商業高校同窓会員のみな様にはますますご健勝にて、それぞれの社会・職業・業界の活動に、ご精進されご活躍の事と思えます。

本年一月二〇日(日)に開催された、第四九回沼商同窓会総会に於て、役員改選により新たに、会長に就任致しました大川です。

以来、私は輝かしい伝統ある母校沼商と同窓会の名を恥ずかし事の無き様、微力では有りますが役員諸氏のご助力をいただきながら、会の充実発展に努力してまいった所でございます。

さて、母校創立百周年を記念した諸事業も、平成一四年五月一七日(金)に開催された本年度第一回常任幹事会に於て、明石海人顕彰委員会の会計報告承認を以ってすべて終了致しました。まず以って、報告させていただきます。

その後沼商同窓会活動の新規事業について役員会等で協議検討した結果、長年の懸案であった同窓会独自の「会報丸子の杜」

の発行が役員総意のもと決定致しました。「会報丸子の杜」は、全会員及び関係各位のお手元にお届けして、会員相互の親睦はもとより、会との結び付きが図られるものと確信致しております。

近年は、地方の時代と言われ、地方分権が教育の分野(領域)にも推し量られ、今後は沼商独自の望ましい教育が実施されるものと期待しております。又一方では、沼商同窓会も変わるべく方向に進め、役員会としては、各地区支部の復活設置を促進して、基盤強化を図る、その段階として、今回の会報発行の運びとなりました。

今後は特に女性会員や地域の同窓会の輪を広げるべく、組織の強化と融和を大切に運営して参る所存であります。以上をもちまして、みな様方へのごあいさつと、させていただきます。

大川徳雄氏(おおかわ・とくお) 高二回  
市内内浦小学校六年卒業後沼商に入学。  
一年・二年工業学校、三年・四年商業学校  
五年・六年商業高校と六年間沼商に在学。

## 定時制創立 六〇周年記念式典

定時制創立六〇周年記念式典は、九月二七日(金)一九時より沼商視聴覚教室に、在校生・先生方・来賓・卒業生が集まり行われた。式後の講話には、定時制五回卒業の羽切信夫氏が、定時制時代の思い出話に、激しい職場体験について、熱っぽく話された。

卒業生による創立六〇周年記念の会は、後日の一〇月一九日(土)一七時三〇分より沼津駅前沼津軒に於て行われる。記念の会は前回の五〇周年以来一〇年振りのことと、今から在学中の思い出、旧友と語るのをみなさん楽しみにしている。

## 春の叙勲受賞の栄

勲四等瑞宝賞 河本与司幸(定四回)

元日弁連常務理事

勲五等瑞宝賞 小笹正夫(定五回)

元県地方労働委員会

長年にわたり社会に貢献してこられたお二人に心よりお喜び申し上げます。ご活躍をお祈りしております。

## 沼商定時制六〇年

戦争最中の昭和一七年四月静岡県立沼津商業学校に、現在の沼商定時制前身の静岡県立沼津第二商業学校が併設された。それから今年六〇年にもなる。同時に静岡第二商業も始められたので、すでに始められていた浜松第二商業も合せ、東・中・西三校の夜間商業学校が県内に整えられた。

沼津第二商業の募集定員は一学級の五〇名、入学資格は国民学校(現小学校)高等科二年卒業とする、就業年限四年制の商業学校で、定員の三倍もの応募があった。そ

んな中敵選された生徒たちが、夕方になると沼津商業と併用の校舎へ通い始めた。その後戦況の激しさから、一九年四月沼津商業学校は、沼津第二工業学校に転換を余儀なくされたが、沼津第二商業学校はそうしたことなく、商業学校として存続された。しかし空襲警報による灯火管制が一層強化されたので、授業の中断もしばしばであった。

翌二〇年七月沼津大空襲によって、校舎の大半が焼失されてしまい、間もなく八月の終戦。これで戦争のおびえも、灯火管制もなくなったが、それからの生活は深刻のきわみであった。

九月二学期からの授業は、市内大岡高田の旧沼津海軍工廠工員寮を仮校舎に始められた。何もかも不足・不自由の中の授業も、三月に至ってようやく第二商業初の卒業生を送り出すことができた。

昭和二二年四月学制改革によって、義務教育の新制中学校が各地に開校された。翌二三年四月沼津第二商業学校は、新制高等学校に昇格して、沼津商業高等学校定時制と称するようになった。

そして高校になっての三年目の二五年、各地の中学校三年間初の卒業生多数が、本校定時制に入学してきた。以後毎年一〇〇名をこえる生徒が入学してきたので、昭和三五年には全校生徒数が五〇〇名をこえる勢いになった。

しかしそれからは、入学の生徒数漸減の傾向となり、それに一層の拍車をかけたのが、学校の清水町徳倉への全面移転であった。今はどこの定時制高校にもみられる、全校生徒数の少ない学校になってしまっているが、普通商業の教育課程(教育内容)で、沼商定時制六〇年の教育は継続されている。

# 同窓会の皆様へ



沼商校長  
渡邊文藝

日頃同窓会の皆様の多方面からのご支援に心から感謝申し上げます。

実は本年六月三日(月)御殿場市大坂にお住まいの小林薫様(高一回)宅を訪問させていただきました。

弟様で小林貢様(高五回)が不治の病にかかられ、病床より母校に、交通事故をなくすのに役立ててほしいと、百万円を兄の薫様に託されて預かってきたので受け取ってほしいとの事でありました。有り難く頂戴にあがった次第です。

私は、先の阿部英雄様といい、小林貢様といい、かくも母校沼商に対する思いが深いものかと、ただただ胸が熱くなる思いばかりでした。

涙を流すのもみつともなく、つい湿りがちになりそうで、言葉少なくお礼を申し上げて、帰らせていただいたのが心残りに思われます。

沼商は丁度今年から二年間、文部科学省の交通安全教育研究指定校になっている時でもあり、万軍のご支援をいただいたような気が致しているところでもあります。

早速、生徒から募集した交通安全標語コンクールの最優秀作品を横断幕にして校舎に掲げさせていただきました。又、正門から校舎に向かってくる、いちよう並木の坂道の一方通行の標識を、新しくするのもお金を使わせていただきました。

また昨年の一〇月の同窓会の常任幹事会の席上で、沼商の明石海人の歌碑の周りの松が枯れてしまった事をお話ししたら、それを聞いていた、大川栄一様(高六回)が、ご自宅の松を早速下さった事にも、驚くやら感謝するやらした事も皆様に、ご紹介しておかねばと思っております。

今年弓道が二〇年ぶりに県で優勝し全国総体に、またバドミントンも全国総体に出場が決まった事を機に、弓道部・バドミントン部のOBのみなさんが、浄財をお集め下さいました。ご支援の手を差し伸べて下さった事にも感謝致しております。

## 沼商の教育

今の沼商教育は、小学校制により行われている。小学校制は、戦前・戦後の商業教育の内容を細分化して、より専門性のある教育とするもので、沼商の清水町徳倉全面移転後の昭和四三年四月から導入された。それ以前の昭和三一年四月からは、沼商教育に類型制が導入されており、それをさらに専門性のある教育としたのが今の小学校制である。

こうした専門性のある類型制・小学校制による商業教育を「専門的商業教育」といい、戦前・戦後の商業教育を「普遍的商業教育」といつている。従って沼商一〇〇年の商業教育も、その教育内容から丸子時代と徳倉時代に、おおよそ時代区分される。

平成十四年度(全日制)

- ・会計科 (簿記会計中心) 二四〇名
  - ・情報処理科 (情報処理中心) 二四〇名
  - ・国際経済科 (経済・英語中心) 二四〇名
- 最近は大学・短大・専門学校への進学希望が一〇〇名をこえることから、英語の学習時間の多くなっている国際経済科が、進学希望者向になっている。

# バドミントン創立五〇周年記念式典

沼商バドミントン部創部五〇周年記念式典が、十一月一日(日)一十一時より沼津駅前沼津軒に於て行われる。当日沼商OB会員に沼商選手も加わり、それに市内の競技団体代表者も参列、都合八〇名程の関係者が集まる式典になる。式典の中では、今年全国総体に出場の選手を含めた在校選手に相当額のシャトルコックが贈呈される予定。式後は、今回を記念して出版された「沼商バドミントン五〇年史」についての講話が行われる。なお今回の式典にはOB会結成四〇周年記念の意向も含まれている。以後一二時過ぎからは、懇親会も行われ、それぞれ若き沼商時代の戦績、思い出の多きをみんなで語り合い、限られた一時を大いに楽しみ喜び合う。

## 本部事業計画

### 各専門委員会より

#### 支部結成委員会

以前各地・各地域に次の支部が存在して、親睦・懇親の会を行ってきた。  
東京・横浜・熱海・小山・御殿場・裾野・原・内浦・土肥・富士・静岡・名古屋・大阪の以上一三支部  
現在会の行われている支部は、熱海・御殿場・西伊豆(土肥)・富士の四支部に留まっている。今回一昨年の富士支部の再興を契機に、広く支部の再興を促すことになった。支部活動は会員を地域で把握する、地域同窓会のもとをなすものであり、それが同窓会全体の組織強化・活性化への足がかりともなる重要な活動である。何れ各地域

沼商にバドミントン部が創部されたのは昭和二十七年四月、今年で五〇年になる。創部四年目の三〇年には早くも全国大会に出場、以後三五年・三六年・三八年・三九年の都合五回の出場を成し遂げている。そして当時富士高、沼津東高を加えた、県内三強を誇っていた。

その間東海大会には、三〇年・三六年・三七年・三八年と四回出場し、三六年の大会では、史上に残る団体(学校対抗)優勝を果して東海一になっている。

学校の清水町徳倉移転後は、全国大会出場の間もなく、長い停滞から低迷の期間を経て、最近ようやく県大会に出場できる様になった。そして本年に至り二年生男子選手が、実に三八年振りの全国総体(茨城)に出場を果した。今OB一同は来年度の連続出場を期待して、県内に「古豪」復活といわれるのを待ち望んでいる。

に世話人をお願いして再興を図る。

地域の広い沼津については、駅北・中央・香貫・南部その他の地区に分けて、支部の結成を促したい。徳倉に移転して三五年も過ぎた現在、地元の清水町・三島・函南から通学する生徒が非常に多くなっている。従って会員数もこれらの地区は急増していると思えるので、清水町・三島などの支部結成には、新たな世話人・推進者選びが重要視される。できれば東京・横浜・名古屋・大阪などの遠隔の地にも再興への手を伸ばしていきたい。

#### 部活性化委員会

各クラブOB代表の会を開いてから、かなりの月日が過ぎてしまっている。沼商クラブ活性化提言への源は、各クラブOB会の現状如何にかかっている。先ず各クラブ



OB代表による会を開きたい。そこで各クラブOB会の現状点検をして、休会中のクラブOB会の再生を促したい。そして全クラブOB会連合の結成を早期に実現できるようにする。

現在の沼商生の部活動所属状況は、文化部四三八名、運動部二六五名で、運動部は全体の三七・七%と低い状況にある。女子が全体の七七・一%を占める現状に考慮する必要がある。

#### 記念史販売委員会

今本部に「沼商百年史」が、相当に残っている。ご購入ご希望の会員の方は、同窓会賛助金一万円をいただくことによって、直ちにお手元にお届け致します。

何れ役員の方々に販売をお願いする場合もありますので、その際はよろしくご協力の程お願いします。

#### 沼商力一ド推進委員会

沼商同窓会事務局  
〇五五一九三二一五七七  
なお最新版の「会員名簿」の残部も相当あるので、ご購入お願いします。代金は一冊送料込みの五、〇〇〇円、申込先は沼商同窓会事務局へ。

#### 沼商同窓会入会一〇〇名目標に、現在一八〇名程の入会に留まっている。カードはカード会員の利用の度合・実績によって、沼商同窓会会計に還元され、同窓会の事業振興に活用される。

カードの利用範囲は会員とその家族、入会は何時でも自由ですので、同窓会員多数のみなさんの加入をお待ちしております。

申込先 沼商同窓会事務局  
〇五五一九三二一五七七

なお入会金・年会費共に、無料になっております。

### NHK静岡 「富士山とわたし」

特選 冬「夕照」 奈木正次(沼津市)  
夕刻の光と強い西風が絶好のチャンス。プレゼントしてくれた。日没後暗くなった登山道も足取軽くなる。

#### NHK富士山写真コンクール選評

この作品は、愛鷹山・越前岳に登って山体傾斜を強める努力をし、加えて夕方の斜光で山肌に立体的な影を作り出した。夕方の色づきもよいが、冬の強風が雪煙をたなびかせたさまは富士山の美しさと強さをみごとに表現。正統的で、構図上も文句のつけようがない秀作である。特選。

(写真家 白旗史朗評)



奈木正次氏(なぎ・まさじ) 高一〇回  
本校在学中は登山部。第一回全国高校登

山大会(奈良・大峰山)に出場。

NHK富士山写真コンクール平成六年度から一三年度まで、特選三回・入選四回、その他御殿場・大月コンクール最優秀賞。

### 丸子の健児ここにあり



本年六月一五日、旧三一回の面々が恒例に依り、伊豆長岡「おとり荘」にて同期会を開催した。昭和七年卒の今年米寿を迎えるとのこと。サッカーのワールドカップが日韓両国に渡って開かれ賑わいを見せた今年を遡ること七〇年前、上海事変や満州国建国、日本橋白木屋炎上(我が国初の高層建築火災)など騒然とした世情の中で、勇躍して学窓を飛び立った一三五名の魂が集約され、今回の出席者七名に宿っていた。今でもその健在振りを、後輩に告げている。残念ながら今回を最後に、同期会を解散する旨を本部に伝えてきた。往時の意気益々盛んな皆さんのご健勝を祈念したい。

# 茨城全国総体

## ◇バドミントン

八月五日(月)

於茨城県立竹園高校(つくば市)  
男子シングルス一回戦

高田 0 (12-15) 2 吉村  
(唐津南)

高田選手の対戦相手である吉村選手共に二年生であったので、勝機も十分にあると思われたが、吉村選手は九州というバドミントンでは強豪県で採まれていることもあり、競り合いの未敗れてしまった。特に第一ゲームは、高田選手の持ち味であるカットやフェイントの利いたショットで揺さぶり、常にリードをしていただけに、惜しいゲームを落としてしまった。第二ゲームは気落ちしたのか一方的に離され後半挽回はしたが、前半の得点差を逆転するまでには至らなかった。実力的には差があるとは感じなかった。今後の努力次第では来年のインターハイに期待がかかる。

## ◇ホッケー

八月二日(金)

於茨城県阿漕ヶ浦公園競技場  
(那珂郡東海村)

女子一回戦

本校 1 (1-1) 2 丹生高  
(福井)

試合開始一五分頃に本校がカウンター攻撃から先取点を奪う。その後、一進一退を繰り返したが、前半終了間際に丹生高校のセットプレーから失点をしてしまい、前半を一对一で終える。後半に入り、両者互角の試合展開でお互いチャンスが奪うが得点にならずに試合が進む。試合終了間際に丹

生高校にセットプレーを許し、ゴール前の混戦から逆転されてしまい、一对二で敗れた。あと数分頑張れば引き分けになった事を考えると惜しい試合だった。

相手の丹生高校は小学校からスポーツ少年団などが盛んで、経験者が多い伝統校であり、結果的には丹生高校が三位になったことを考えると、創部五年目の本校選手はよく頑張ったと思う。本校二年生が七名もベンチ入りしておりよい経験となった。

## ◇弓道

八月三日(土)

於茨城県武道館弓道場(水戸市)

女子団体予選

決勝トーナメント進出ならず

各参加校との実力差は余り感じられなかった。しかし二〇年ぶりの出場という経験不足と大会雰囲気とうとう、実力を十分に押し切れないまま敗れ去った。

なお、今年の高知県県選抜高校女子三選手に、今回出場の本校選手が二人も選ばれている。

## 沼商屋に燦々ぬまづ大賞



燦々ぬまづ大賞は、沼津の知名度の向上や、にぎわいづくりに大きな役割を果たした人や団体を、燦々ぬまづ促進委員会が表彰するものである。平成一三年度の表彰式は、三月二七日沼津市役所で行われた。

「沼商屋」は昨年末、沼商会計科の三年生が、販売実習授業の一環として、TMOぬまづチャレンジショップ二階に開店した店である。全国的にも珍しいこの実習経営では、七日間で約一、五〇〇人が来店し、売り上げは一〇〇万円を超える大いににぎわいだった。

なおこの沼商屋は、昨年末の一二月二二日(土)から二八日(金)までの七日間、沼津市アーケード名店街で営業された。

## 沼商生がインターンシップ

八月二日(木)一〇時より、清水町の沼津卸団地、伊勢吉の三階をショップに、沼商二年生一七名による、インターンシップが開かれた。このセールは、企画から営業・経営までの全てが、生徒の手によって行われ、収益金は清水町の福祉センターに寄付された。

店内は、和食器・洋食器・料理用具・せん維品・製菓品などの五つのブースに分けられ、おかげ様でそれぞれのブースに多数の買物客が訪れた。  
なお今回のショップ経営については、ショップお借りの伊勢吉さんに、多大のご支援、ご協力をいただいた。NHK静岡放送テレビにも放映された。

## 「丸子の杜」のいわれ

因みに、現同窓会報《丸子の杜》は、栄光ある伝統の象徴として、その名を受け継いだものである。

明治三二年四月、乙種商業学校相当の設

立許可を得て、沼津町三枚橋「蓮光寺」を仮校舎として開校。翌年、山神道(現八幡町)に新築した校舎に移る。これと前後し世界の大国を相手に、二度の戦役を勝利に収め、産業の振興著しく、国内ばかりか海外に新天地を開く必要に迫られ、そのため人材の育成が急務となった。生徒数の増加や施設の拡充のため、大正一〇年六月三〇日丸子町に新天地を求め移転する。翌一一年四月一日県立移管となり、「静岡県立沼津商業学校」と改称、五年制一五学級八五〇名生徒数に達し、スタート時の七倍にも及ぶ規模となった。北に丸子神社を拝し、鎮守の森が運動場に突き出て、恰も我が校を守るかのように見えた。この広大なグラウンドを擁し、スポーツ熱は急速に昂まり、以降幾多の名選手を輩出した。学業においてもNCSの帽章と二本の白線は、中等学校進学を目指す学童達の憧れと化し、卒業生は産業界を始め、各分野で顕著な足跡を残した。太平洋戦争勃発後の昭和一七年四月、勤労青年のための夜間過程「沼津第二高等学校」が県東部初の夜間中等学校として開校された。この丸子時代が、我が沼商の黄金期として、自他共に認めるところである。

『丸子の杜』は旧校歌や応援歌としても歌われ、沼商の代名詞ともいわれる所以、存在である。

## ◇事務局より

- 改姓・住所変更・訃報など
  - 話題・ニュース・自由投稿など
  - 支部会・同期会・クラブOB会など
  - 学校・クラブ沿革史その他
- 以上の事柄について、同窓会事務局までご連絡、お問い合わせ下さる様お願い申し上げます。 ○五五一九三二一五七七



### 定時制六〇周年記念の会

小池忠雄(定八回)

平成四年九月沼商定時制創立五〇周年を「集まろう・語ろう・五〇年」のタイトルで記念の会を開催し、卒業生を中心に三五〇余名の多くの方々にお集まりいただき、皆様のご協力により盛大に終了する事ができました。前実行委員長として感謝致しております。

あれからもう一〇年が過ぎ、今年は六〇年を迎える運びとなりました。その中で準備委員の方々から、再度本記念の会の実行委員長の要請を受け、微力ですがお引受けすることになりました。昨今は大変に厳しい社会情勢の中にありますが、沼商定時制創立六〇周年記念の会を計画しました。

沼商定時制は、昭和一七年四月静岡県立沼津第二商業学校としてスタートし、早いもので定時制創立六〇周年を迎え、多くの卒業生を世に送り出してきました。現在は二、〇〇〇名余りの定時制同窓会員がおり、全沼商同窓会員の約一割を占めて、各業界に活躍しております。

しかし近年の沼商定時制は、先細りの状態です。私たちは入学希望者がいる限り、学校に協力していきたいと思っています。

### 沼商PTAより

佐々木敏祐(会長)

沼商同窓会員の皆様、日頃よりPTA活動にご理解ご協力ありがとうございます。昨年は明石海人記念歌碑建立をはじめ、校内設備の整備、部活へのご支援などの活発

な活動の中在校生後輩たちも、諸先輩の偉大さを知ることができ、沼商在学に誇りがもてたことと確信致しております。私たちPTAも、それに応じた活動をと心懸けております。

本年度のPTA活動の基本方針は、PTA全員で事業を計画・参加し、生徒の教育環境を見つめて行く事を第一とし、第二に交通安全マナーの理解・向上を目的とした事業の企画実施など、二本の柱を核とした事業展開を行ってまいります。

実施に当り、第一の柱はPTA五役・学校を交えて各地区懇談会や、紫旆祭にはPTAによるバザーを催し、親子親睦球技大会を行い、新企画によるPTA新聞発行にも取組みます。第二の柱は交通安全委員会が中心となり、同球技大会の校内駐車誘導や、沼駿地区交通安全街頭指導を実施。常勤の交通指導員の業務指導など、PTA全員が参加・協力する事により、生徒や保護者のみならず、学校を取り巻く地域の皆様と共に、昨今の交通事情や交通ルールの再認識と交通安全への意識の向上を図る事が必要と考えております。

沼商PTA活動は、関係各位が一丸となり、同窓会のご支援を頂き、生徒達の学校並びに生活環境を最良のものに構築していく事を銘じております。同窓会と共に歩み、益々の発展を祈念して止みません。

### 熱海支部より

米倉孝夫(高四回)

熱海支部は、昭和三八年四月に高第七回の卒業生が中心となり、当番幹事を務め、第一回の熱海支部総会を開催しました。

それ以来、高七回生が二七才を迎える当番幹事のお役目を担い、現在は、米倉支部長のもと、毎年三月に新卒業生を招待し

て総会を開催しております。平成一五年三月には、熱海支部創設四〇周年を迎えます。

熱海支部がこのように継続出来たのは、先輩諸氏が欠かさず出席して下さった事と、第一回総会幹事の高七回生のかわらぬバックアップがあったからと思います。

そして、その姿勢が次の幹事を育て、世代を超えた和が現在も続いております。しかしながら、課題がない訳ではなく、最近の卒業生に自営者がなく、又、結婚して他の土地に転居してしまう為、総会の出席が出来ず、私も万年当番幹事となっている現状です。

これから熱海支部四〇周年総会開催に向けて、できるだけ多くの会員が参加できるように会の形成を考えております。

### 西伊豆支部より

鈴木健市(旧四六回)

春秋会・昭和一〇年代後半、戦前の激動の時代から、西伊豆地域と沼津を結ぶ船舶による物資の交流が発達し、以前に増して盛んに行われ地域の発展に伴い商業取引が拡大されてきた経過があります。

その頃、商業学校への関心が我が母校沼商への入学を増やし、それを契機に戦前の土肥町には沼商卒業生が結成した「春秋会」がありました。初代会長は関勇氏(旧一一回)でした。会の名称は「人生春秋に富む」の故事から名付けたそうです。現在は「西伊豆春秋会」と改名し、土肥を中心に西伊豆海岸三町二村で会員数は二五七名あり地域的な沼商同窓会となっています。

かえりみれば、戦後小生達が入会した当時、先輩は皆地元有力者で、私達は未席で小さくあった記憶があります。しかし、諸先輩は親切で、町の歴史、人脈、産業の変遷、人生指針等々を教えてくださいました。私達も先輩のように沼商同窓生の「縁」を大事にし、共に励まし助け合って、同窓生皆様の御健康と御発展を心から願っております。

### 御殿場支部より

池谷喜幸(高三回)

この度、沼商同窓会御殿場支部・支部長を仰せつかり、恐縮致すと同時に、責任の重大さを痛感しております。幸いにも、副会長には第四回卒の勝又英男君、会計には第九回卒岩田睦君と、二人の人材に恵まれ、今後の方針を相談していく所存です。

御殿場支部は、商家出身の二世、三世が多いので、地域経済研究会を持ちながら、懇親会などを開催していきたいと思えます。歴代支部長を始め、諸先輩が築いた伝統ある沼商同窓会御殿場支部を、より一層の強い絆と相互扶助の会となることを祈念しております。

### 「活動方針」

- 一、年一回支部総会開催
- 一、卒業年度を数学年に区切り、各グループごと役員選出
- 一、役員会は、年二〜三回開催し会運営の円滑を図る
- 一、会員の発掘に努める

### 富士支部より

渡辺泰男(高五回)

開校一〇〇年の記念行事が終った時点でふと考えたとき、このまま終わってはいかにも空しいではないかと思うと同時に、これだけ歴史と伝統のある母校であるのに何故正式な支部活動がないのか、摩訶不思議に思っております。同じ思いを抱い

ていた当地域在住のOB諸氏の有志が、この一〇〇年の経緯をきっかけに何んとか支部をつくろうと熱心に協議を重ねました。

「沼商OBここにあり」と、その活躍と存在感をアピールしようとして、お互いに青春を燃やした母校の輪を広げよう。そしてOBとしての在り方や、また地域の中での活動をより一層高めていくことを目的に名称を「沼商ふじの会」とし、ここに設立となった次第です。

当地区には、名をなした立派な先輩や同輩、後輩が沢山いる中で、私ごとき力不足のものがこの任に指名されたことは誠に光栄であります。しかし、その基盤づくりと今後の方針を考えると、その責任の重さを痛切に感じているところであります。

なお、きたる平成一四年一月二三日(土)には、吉本興業の常務取締役で現在最も注目されている人物の木村正雄氏を招いて、経済情勢が大変厳しい昨今「不況をふつとばす笑いの文化」という講演会を準備して、盛大なる総会にすべく有志の皆さんと共に、毎月定例会を開いて総会準備への協議・検討を重ねております。きつと素晴らしい総会になる事と信じております。

## 我が人生

### 小池政太郎(旧二九回)

二本の白線帽に憧れ、苦労はしたけれど一度の失敗もなく大正一四年四月に沼商に入学しました。素晴らしい友人が沢山でき、私の一生に幸せをもたらせた沼商に感謝の気持ちで一杯です。しかし入学後は落第せぬ様苦勞の連続でした。それ程レベルが高かったのです。健康に恵まれ、五年間無欠席で卒業出来たものの世の中は不景気の最中、簡単には就職が出来ない時期、幸か不幸か自営業の鰹・鮪の活イワシ販売業の後

継者として、父の教えを乞う自分だった。

仕事の内容は、漁業者の網から活きたままいけすに放し、馴らして鰹漁船に販売する商売です。是が中々難しく一人前になるには一〇年余り苦勞するだろうと云われていた。修業中は大変な時期を過ごしたが、取り巻く人たちにも恵まれて、千葉房総沖と御前崎沖の東海漁場を操業する全鰹漁船の約四〇%の顧客を手中におさめた。以後家業も順調に進み、懐も大分温かくなったのでイワシ漁業者と関連のある造船・漁網業者等にも利益の還元を考えていた。

この事を龍澤寺の老師様に話した処、大賛成で一番早い政治に支えよとの意見に、まだ政治の事は良くわからないので単に聞く程度でいました。ところが昭和三三年の末頃、突然石橋湛山先生の後援会長が見えられ来年四月の県議会議員の選挙に出馬要請があった。親戚の大半は出馬反対。地区の各種団体は賛成多数だった。昭和三四年四月二三日出馬を決定。結果は最高得票で当選した。以後昭和五〇年迄連続五回当選を果す事もでき、二〇年間県議会議員として籍を置くことが出来た。その中で昭和四七年六月県議会冒頭、沼津市初の第六四代県議会議長に選任された。

ありがたいことに議員になって、私の沼商入学の時の故村直人校長先生から、同窓会総会の際に、次のような御教訓をいただきました。

「今村直人先生の教訓」

一、決して選挙民には迎合するな  
一、論すべきはさとせ  
一、選挙民には全力を傾注して奉仕せよ  
この教訓を終始真剣に守りました。しかし凡庸の私には、支持者の皆様の内得を得たか、どうかは確信がありません。

## 忘れもの

### 白井啓子(高九回)

今年の夏は異常に暑かった。原因はこの辺と片付けたい所だが、この所実に多く事を忘れる。

歯科医院の予約、茶会の日時、家人からの伝言及び書類の授受等々。置き忘れに關しては日常茶飯事。銀行の通帳が見当たらなくなつて久しいが、当節便利なカードがある為、不便は感じない。ただ使用の「〇〇回帳」されておられません。の文字にはいささかの罪を感じて、過日再発行の手続きに行つて来た。面倒な上にただでは済まないらしい。

孫の子守を忘れた場合も代りの人を見つけないければ、大変な事となる。会費振込も突然思出し、ぞつとする事も、経験済み。さすがに、心細くなつて、夏休みに帰省した長男にこの有様を語り、アルツハイマーになるのかと糺したが、忘れた事を覚えていたのだから良い、住所と氏名を間違えなければ、病気で無いとの返事である。まず、ここは一安心。見えなくなつたものも忘れた頃に出て来るし、万一、そのままでも命に別状無し。その内忘れた事も忘れて、月日は過ぎていくものだ。

## 女性の集い

### 若林まさ江(高一三回)

同窓会に女性が参加するようになったのは、今からおよそ二〇年前頃から時代の流れとともに女性の入学が年々増加してきたことによる。当時の同窓会の役員会で、これからは女性の会員が多くなるから、同窓会の運営にも参加してもらおうとのお考えで「沼商同窓会女性の集い」を企画してくだされました。

当時、私達の時代は一回が二〇名、一

二回が四〇名、一三回が八〇名と毎年女性の入学が倍々となつてきたときです。そこで女性の同級生が多いことから一三回が中心となり、一回山崎雅美さん、二回松本八千代さん、三回若林、一回河辺泰子さん、一五回諏訪部善枝さんと各回の常任幹事みなさんより声を掛けられて、世話人となりました。

特に思い出深いのは、同期の渡辺良平さん、井上修宏さんに呼ばれ中島美保子さんとも訳も分からず、当時副会長の大井さんのお宅へお伺いしたときです。緊張の余りお顔は誰ひとり覚えていませんが、大先輩がズラリと並んでいる中で紹介していただきました。そして後日、副会長金刺さんと沼商「丸子の杜」会館で定時制卒の女性に集いのご協力をお願いした折り、「何のメリットがあるのか、各自仕事を持ち、休日は大切だ、費やす程の価値があるのか」など厳しい質問を受けました。それでも皆様にご協力を得まして、昭和五九年五月一日に沼津軒で盛大に第一回の「女性の集い」が開催され、当日は、定時制の笠井さんにご挨拶をしていただきました。説明のときは、キツイことをいったけれど、今日は本当に楽しかった。そして「若林さんありがとう」といつてくださったのには胸が熱くなりました。

以来、同窓会の役員会に女性の方が参加するようになり、九〇周年、一〇〇周年の記念行事にも女性が多勢活躍しました。

## 思ひ出

### 甲田悦隆(高一八回)

「沼商の伝統はなんだ!」と言ったら、「天井を見ろ」と答えた先生がいた。手塚治虫の漫画ヒーローもいたし、犬が三匹いた。いつもスキーマの話や戦争の話

していたり、ラグビーばかりやらされたり、生徒の陰に隠れてしまったり、火星ちゃんもいた。ことほど左様に伝統校には名物先生が多い。名前がトウシロウで素人にしてはいかにもと思つたら、名字がコウノトウだったなどは、笑えない話である。

ダニが異常発生するほどのボロ校舎なのに、雨だからといって校舎の廊下を五〇メートルトラックや、階段を神社の石段に見立てなくてもいいと思うのだが。沼商国一交差点事故防止のため運動部対文化部の生徒集会討論の時に「文化部は止めて！」とのたまった女子がいて大ブーイング。でも今でも彼女とは友人である。四八〇名余団塊の世代は、良きにつけ悪しきにつけ一つの時代の象徴であつたと思う。男子の長髪が始まつた時代でもある。

興味しんしん

藤江康儀(高二八回)

今年の盆休み、帰省中の仲間と酒を酌み交わした。皆、沼商二八回卒の同級生だ。酒の量が増える毎に、そこには、現在の自分ではなく、沼商時代の自分がいた。専ら、話題は当時の事、先生・友達・部活・恋人・謹慎生活、そして現在の事、皆堰を切った様に話し出す。いくらか話が落ち着いた頃、今の同窓会活動の事になった。「いつ、いつたい、何をしているの? 是から何をやるの?」継ぎ早の質問に僕の知り得る知識の中から、育英基金の事、富士山三七七六植林事業、明石海人歌碑建立事業等の話をした。すると不思議そうな別世界の事のような顔をして聞いている。間髪をいれず、平成一六年同窓会総会第一四回・二八回・三八回卒の当番幹事なんだ。何それと驚きの顔である。詳細は来年の第五〇回沼商同窓会総会に

来て見ればわかるよと言って、みんなの出席を取り付けた。

母校の繁栄と同窓生の健康を祈って、先ずは、参加する事が第一であるとして、乾杯した。

同窓生として

川口厚樹(高三三回)

私が沼商同窓会に出席するきっかけは、柔道部OB会の出席から始まった。

自分が一番下で何をしようのか、自分は何処の席に座ればいいのか、解らず、迷っていた。案内されて、席に着くと、諸先輩方いろいろな面倒を見て頂き、想像していたより、和気あいあいに過ごせた。

第九回・二三回・三三回の人達と当番幹事を経験し、以後毎年総会は、勿論、同窓会の各行事等に出席する様になった。

しかし、寂しい事は、若い世代の同窓生の出席が少ない事です。自分達が、トップになって同窓会を開かなければならない時がくる事も知りませんでした。

是非、後輩達にも、どんどん出席してもらって、良き先輩と知合って、力になって頂き、これからも、沼商同窓会が消滅しない様、後輩に頑張ってもらいたい。

正直、今の同窓会は若い力が足りません。一度同級生を誘って出掛けて見て下さい。沼商同級生として、得るものが必ずあるはずですよ。

思い出

後藤功一(定四五回)

私は、今から九年前沼商定時制を卒業しました。入学時クラスは男女合わせ二四名でスタートしました。卒業時(平成五年)には一〇名しか居ませんでした。この四年間には様々な思い出が残っています。我々定時制の生徒は、昼間仕事をしている関係

上、時には仕事の疲れで授業の途中寝てしまう者も出てきます。冬は教室に電気ストーブが出ますので、自然とそれを中心に机を運び授業を受ける事もあり、全日制では見られない授業風景です。その中で、生徒数が毎年減少していくのは、厳しい環境を抱えての就学で止むを得ないことではあるが、自分も二年の時、挫折寸前に追い込まれました。そんな時、力になってくれた先生や友人に支えられ卒業出来たと、今でも感謝の気持ち一杯です。そして、現在は常任幹事として、総会・幹事会への出席、毎年実施している富士山三七七六大作戦(植樹事業)へ参加し、事後の親睦会、お互いの交流を楽しんでいます。今後も同窓会の行事・事業活動に積極的に参加します。

柔道OBより

中西儀久(高七回)

戦後の沼商柔道部は、二六年四月に学校柔道禁止令が解かれたので復活した。早速全国柔道会でも大活躍された故工藤勝太郎先生(八段旧三三回)を師範に招き、戦後の本校柔道部黄金時代を踏み出した。発足当時は部員も少なく、試合での戦績も残っていないが、優秀選手を育成するために、長谷川愛次(高四回)当時三年が先頭に立ち、工藤先生の手足となり活動した。その結果早くも翌年山静大会で団体優勝、個人で川口久一(高五回)が団体に出場を果たした。

その後県大会・山静大会・東海大会に数多く出場し優勝した。個人では昭和二七年、三二年まで六年連続の団体連続出場、通算で一回出場を成した。

一方OB会は昭和二七年四月に発足、初代会長に長谷川愛次がなり、平成一〇年六月から中西儀久(高七回)が二代目の会長

になった。OB会は年一回開催して会員相互の親睦と友情を深め、継続を図っている。部活性化については、大変難しい事ですが学校教育の現状で生徒自身にやる気を出させる事が、第一条件だと思う。良き指導者に恵まれて、学校と父兄、OBの三者一体となつての支援体制が必要と考える。いづれにしても学校指導型の示されたメニューを尊重していかなければならないと思う。最後に我々OBとしては沼商柔道部のさらなる発展を願い、より一層の支援体制を築いていく。

陸上競技OBより

深澤通之助(四八一回)

過去を振り返り懐かしんでみても、現実には今生きていたり。継続・表現されていくては、伝統や歴史があるといつても総て語り草にしかならない。

今年も高校総体の陸上競技の県大会・東海大会・全国大会を観戦する機会を得た。自らが学び卒業した商業学校という意識から、浜商には特に強い関心を寄せていた。今年も浜商は全国大会への出場選手は男女合わせて二十七名、埼玉栄高校と共に最多参加人員を誇っていた。競技の結果は故障者が出て今一歩ではあつたが、先輩達の残した伝統や偉業に挑戦している姿に熱いものを感じた。

八月一四日の静岡新聞の夕刊に、浜商の第二二回全国高校IT・簿記選手権大会日商一級の部で優勝の記事が写真入りで大きく載っていた。部活動は「頑張っています、努力しています」でなく如何に結果を出すか、学校が先輩の応援を含め、挙げて切磋琢磨していることを聞いて本当に感服驚嘆させられた。

「この学校の卒業生です」「沼商の卒業

生です」と、誇れる学校、高校になれるよう、部活動を通じてチャレンジする意欲と行動力を育てる、その方策を今こそ念願したい。そしてその実現に期待をかけた。

### バドミントンOBより

坂倉安藤(高一二回)

部を活性化させる為には、極論的にいうと、強い選手を育てる事と、顧問の先生に選手経験のある、指導のできる先生を招くことである。

わが部は創部以来一五年間ぐらいいは、県内の富士高・沼津東高と共に県内三強を誇っていたが、徳倉に移ってからは停滞・低迷が続いていた。

しかし今年平成一四年度は、二年生男子選手の高田君が、昭和三九年以来の三八年ぶり茨城全国高校総合体育大会シングルスに出場を成し遂げた。今は今年入学の尾崎君と共に活躍している。二人共中学以来の選手だそうである。

次に顧問の高島・小林の両先生は、共に選手経験があり、特に高島先生は来年平成一五年度に行われる予定の静岡国体の静岡県選抜チームのコーチをなさっている。高田君、尾崎君両君は今その国体強化選手に指名されている。

今ようやく沼商バドミントン部は、指導者に強い選手の戦績をあげるうえの好条件二つが揃った。夏には練習ぶりを見にいったが、両先生のコーチ・指導のもと、よく声も出しており、動きもよく厳しい練習によくたえていた。

八月に行われた東大会に於いては、二年シングルスにおいて、高田君と尾崎君が決勝を争った。ダブルスにおいては、高田・尾崎組が決勝に進出した。今OBもこれらの戦績を楽しみにしている。

### 体操OBより

水上泰次(四八一回)

沼商体操部は昭和一三年に創部され、沼東と共に体操沼津を築き、戦後先輩の意志を継ぎ復活して、後輩の努力と練習の効果で、昭和三〇年代前半から毎年県代表として、多くの選手が国体に出場活躍した。

その最盛期もあつた沼商体操部も、第二六回卒業生を最後に、体操部の名が部活動から消えて、二七年もの歳月が経ってしまっている。OBはそんな復活を願っているのだが。

体友会総会も一年おきに実施してきているが、OBもそれぞれ年を重ねているので、毎年実施の意見が多く、今は毎年総会を開き親睦会を兼ね実施することになりました。昨年は一泊二日で大仁ホテルで盛大に行われ、親睦と健康を祝した。翌日は、ゴルフと伊豆観光と二班に分かれて行動した楽しい会でした。

そして、体友会では、沼商一〇〇周年の記念として「沼商一〇〇周年記念と体操に明け暮れた青春の思い出」をつくることになりました。

まずこれについて高四回卒でオリンピック候補選手にもなり、二科展入選者でもある渡辺英明君に依頼しておりました「駿河湾に富士山と体操」をイメージした、今回の記念にふさわしく、また素晴らしいプロポが出来あがりました。

### 剣道OBより

石井俊次(高一四回)

戦後のOB会も来年で三〇回記念の総会の年を迎える。剣心会は宮崎敏顧問(一〇回)を軸に、OB会活動を行っています。一九歳と六三歳と世代間の格差があるので毎年総会の召集には二五名と三〇名程度の

召集人員で苦戦をしています。

来年は、三〇回記念総会ですので役員若返りを図り、増員を計画しています。全国に散らばった会員のため、インターネットで「沼商剣心会」のページをつくり、会員相互の連絡を今年から始めました。

大正・昭和、戦前の丸子時代から戦後の復活時代より甲野藤先生時代。そして現在まで脈々と受け継いできた剣道部の歴史を、絶やさないようOB会として環境や支援を考えると、生徒が集まらないのでは活動や支援ができません。やはりよい指導者の確保が急務だと思います。

それには学校としての活性化がどうしても必要だと思います。自分の子供を行かせたい学校にすること、時代の中の商業学校の存在意義などからのソフト面での見直し、移転などのハード面なども含め、いい指導者が集まる学校でなければ、生徒の指導、クラブの活性化はありえないと思います。

### 野球OBより

村松一成(高四回)

「古希静岡クラブ」と言うチームがある。県東部・中部の方達で還暦チームからの持ち上がりだけで、誰でもが加入出来ない野球チームである。この夏の東日本大会には私も参加させて頂いた。

メイトには、三回卒の杉崎美明さん、還暦静岡クラブには、八回卒の沼商時代投手として活躍した、菊地計夫さんが、監督代理で活躍している。

いつまでも元気にプレー出来ることは、大切だが、チーム内を元気にする仕事も、大切で、落ち込んでいる選手に「チーム全体の力が落ちるよ」と力づける事も大切な野球です。

又、黙っていれば、年令とともに、どん

どん落ちる。筋肉を、ストレッチを楽しむながら維持させること、フォームのチェックも重要と考えるので、トレーニングは欠かせない。

この歳まで、県内で僅かしかない、チームに残されたことと、白球を追い続けられる喜びを味わえるのも、沼商時代にもまれ鍛えた身体があつてこそと、遠く空を見上げる事もある。一人ひとりの愛球心が、沼商野球部活性化へ必ず通じるものと思う。

### 弓道部OBより

柿島信彦(高七回)

弓道部後援会は、昭和三年に設立されている。部活の成績の良かった頃は、会の運営も順調でした。

沼商が清水町徳倉に移転後は、部の成績も振わず、二〇年前に一度全国高校総体に出場した実績を最後に、以降成績が不振で資金も集まらず、止むなく一七年前より休会に至りました。先日、学校より弓道部の全国高校総体出場の連絡を受け、二〇年振りの榮譽に慌てて後援会を再生させました。関係のOB諸氏に連絡、部への支援に約一五〇名の方々からご賛同を頂き、会の名称も気持ち新に「沼商弓道部要会」に変更して再生する事が出来、誠に感謝に堪えません。

今後は、全国レベルを維持する為にも、弓道部の活性化の為に出来る限りOBとして応援をし、資金的支援もしていくつもりです。

一方「沼商弓道部要会」としても、OB会員相互の親睦を図り、結束をさらなるものにして、われわれOBのテーマ「金は出しては口は出すな」初代会長から申し送られたこの言葉、この方針はこれからも、貫いていきたいと思っています。